

福山市成果連動型介護予防プロジェクト業務評価基準及び企画提案書記載事項

1 評価基準

評価項目		評価内容	配点	小計
1	プロジェクト名	ア プロジェクト名(愛称)	3	3
2	介護予防に対する考え方や現状認識	ア 基本的な知識	3	12
		イ 課題認識	3	
		ウ 独自の取組	3	
		エ 地域貢献	3	
3	広報計画	ア 広報の手法	5	15
		イ 参加者を増やす取組	10	
4	プログラム内容における事業提案	ア 啓発プログラムの内容	10	47
		イ 継続プログラムの内容	27	
		ウ 活躍の場プログラムの内容	10	
5	プログラム終了後のセルフマネジメント	ア プログラム終了後のセルフマネジメントの仕掛け	5	7
		イ アプリの周知・健診の勧奨	2	
6	デジタル推進	ア デジタルの活用	3	3
7	実施体制	ア 実施体制・連絡体制	5	5
8	実績	ア 事業実績	5	8
		イ 事業年数	3	
合 計			100点	

2 企画提案書記載事項

(1) プロジェクト名

ア プロジェクト名 (愛称)

- ・本事業の愛称として使用するインパクトがあり覚えやすいプロジェクト名を提案

(2) 介護予防に対する考え方や現状認識

ア 基本的な知識

- ・介護予防に対する基本的な知識・考え方を記載

イ 課題認識

- ・現在の地域で暮らす高齢者の現状や課題を記載
- ・現状や課題を踏まえた取組の方向性を記載

ウ 独自の取組

- ・法人としての介護予防の取り組みの有無、内容を記載

エ 地域貢献

- ・法人としての介護予防に関する地域貢献を行っているか、又は取り組む考えを記載

(3) 広報計画

ア 広報の手法

- ・具体的な広報の方法・手段の提案 (複数可)
- ・周辺地域の人への広報手段

イ 参加者を増やす取組

- ・高齢者の参加者を確保するための広報手段の提案 (複数)
- ・多くの高齢者が興味を持つ法人独自の知見を用いた効果的な内容の提案

(4) プログラム内容における事業提案

ア 啓発プログラムの内容

- ・実施回数、参加想定人数、時期、場所を記載
- ・プログラムの具体的な内容の提案
- ・継続プログラムの周知やフレイル予防の啓発内容の提案

イ 継続プログラムの内容

【多彩なプログラム】

- ・運動、カルチャー、提案型プログラムそれぞれのプログラム名及びプログラムメニューの提案

【魅力的なプログラム内容、3年間のスケジュール】

- ・事業実施期間 (2024年9月~2027年8月) におけるスケジュール

- ・プログラム実施回数・参加想定人数、
- ・それぞれのプログラムの実施頻度、実施時間、実施期間
- ・有料プログラム、無料プログラムの考え方
- ・プログラムの特徴、期待する効果

【周辺地域での実施】

- ・周辺地域での実施回数・実施場所・実施内容

【介護予防の取り組みの継続実施】

- ・どういった方法でどんな内容を提供するか
- ・介護予防の取り組みを継続させる工夫の提案

【多様な実施主体との連携】

- ・プログラムの実施は地域の関係団体など分野を超えて連携することの考え
- ・高齢者のニーズを踏まえ、柔軟に実施主体と連携する考え

ウ 活躍の場プログラムの内容

- ・実施回数、時期、場所、参加想定人数を記載
- ・プログラムの具体的な内容の提案
- ・継続プログラムの参加者がどう活躍できるか記載

(5) プログラム終了後のセルフマネジメント

ア プログラム終了後のセルフマネジメントの仕掛け

- ・参加者がプログラム終了後も交流できる仕掛け
- ・プログラム参加者がプログラム終了後もセルフマネジメントを促す内容の提案

イ アプリの周知・健診の勧奨

- ・「健康増進アプリ」の具体的な勧奨内容
- ・生活習慣病予防健診及びがん検診の具体的な勧奨内容

(6) デジタル推進

ア デジタルの活用

- ・プログラム申込時や実施の際のデジタル活用の提案
- ・高齢者の特性に配慮したデジタル活用の提案

(7) 実施体制

ア 実施体制・連絡体制

- ・事業の実施体制、連絡・バックアップ体制を記載
- ・緊急時（参加者、荒天時等）の連絡体制、対応等を記載
- ・苦情にどう対応するかを記載

(8) 実績

ア 事業実績

- ・公的な介護予防事業受託実績（福山市、他都市）

イ 事業年数

- ・公的な介護予防事業の実施年数
- ・法人自ら実施している介護予防事業の取組年数